



## ネパール・ミカノ会

No. 8号 1999・4・3発行

〒194-0035 東京都町田市忠生 2-5-36 こもれび堂内

(FAX) 042-793-4170 (TEL) 042-797-3275

### 第三次ネパール教育支援の旅を終えて

会長 斎藤 謙也

#### 「喜び合える旅」。

それが、ミカノ会の旅行のテーマです。教育支援を柱としながら、新たな発見があり、再会があり、充実感がある旅。そして、私達を待っていてくれる人々がいる旅です。

一年間のミカノ会の活動が、一つの旅を通して結実し、次の活動へのステップとなります。第三次の今回の旅行（平成11年 3月 3日～10日）も、そのようなテーマを満足させてくれた旅となりました。

平成10年度はミカノ会にとって、画期的な年であったように思えます。はじめて郵政省ボランティア貯金の配分団体に入れていただき、又、町田市の海外交流事業の補助を受けました（二年目）。多くのボランティア団体に呼び掛けて東急前広場で「夢広場」の実現。ネパール支援ボーリング大会の大盛況。ネパール密教舞踊の夕べなど各種イベントの開催、バザー、桜まつりのネパール大使夫妻招待、等々。実に多彩な活動が展開されて、会員自体がその活動に目をみはりながら、必死に支えてくれたように思えます。

私自身も少し忙しすぎるとは思いつつ、会の発展を、会員の方々の精力的な動き喜んでおりました。そして昨年暮れの間接調査と世界仏教サミット参加を、ミカノ会より派遣させていただきました。



ルンビニのシリ・マズワニ小学校

そして、今回の旅。

ルンビニ地方の、タンセン・サイエンス大学での学生主導による図書贈呈式。あんなに喜んでくれるとは思いませんでした。今村、大谷会員によるタンセンのバザール広場における写真展。多くの市民が目を見はってながめている姿は印象的です。塩屋の娘との再会も。そしてセン小学校における団員による学年別授業（5グループ）。私達のわずかな動きにも注視する子らの目。握手せめにする生徒達。土曜日というネパールの休日にもかかわらず登校してくれた学校側の誠意を深く感じながら、町田第一小学校との交流の端緒が開かれたように思えます。

帰国後、町田第一小学校へセン小学校からの絵やお土産そして写真等を渡した時の児童会の代表の子供等の目も、たしかな手ごたえを得たように、ネパールの子と同じ目をしていた事は「良かったなぁ」と思いました。

ルンビニのシリ・マズワニ小学校の白き校舎は、実に立派なものでした。三教室一職員室は、既存二教室に並んではえ、多分この地域最高の小学校となっているのではと思われます。良き支援をしたものとあらためて思います。しかしながら村の予算（50万ルピー、約100万円）を超える私達の一小学校支援額（約146万円余）である事にも、あらためてびっくりしました。僅かなと思っている使いでのない日本の金銭感覚とはことなり援助が全て生きてくるのです。大事に大事に、多くの方々から寄せられた善意を生かしたい、届けたいと再確認しました。

マホマディア小学校は、きれいに外観がめられ面目を一新していましたが、残念な事に昨年12月の中間調査の時はいた前の校長が代わっており、児童数も減少していました。ヌルブ・ラマ君に聞くと、その村の村長が代わり教員を含めて全て人事移動されてしまうという事です。実に「政治」が大きな影を落としており、上が変わる事によって、全てかわってしまうという事に驚きました。ネパールの不安要素をにた思いがしました。

スリー・スリー・ラム小学校をはじめ三校の調査も無事終わりました。平成11年度計画の中でできる範囲でやっていきましょう。二村の村長との話し合いにより、年間三千円の奨学金（初年度5年生10名程度、三年間で、小5、中1、中2の援助を順次実施）支給が始まります。

多くの支援活動の基がまた固められたように思います。今回の旅に参加された方だけでなく、たくさんの方々のサポートによって実りあるものになりました。本当に有り難く思っています。

今回の旅は、昨年とは逆コースをたどり、カトマンドゥ→ポカラ→タンセン→ルンビニ→カトマンドゥでしたが、ポカラからトレッキングに行くグループと湖グループが別れて（一泊二日）、又ルンビニからチトワン国立公園象さんグループとル

ンビニ残留調査グループ（釈迦族の城カピラ）ト別れて（一泊二日）多様な要望にも答えられる形となりました。それぞれに思い出となり、満足のいく旅であったと思われま。楽しみ、喜び、充たされて、明日からの自分の生き方に大きな影響を与える旅。事務局では自画自賛しているところですが、ご批判、ご要望を含めて、ご意見をお寄せ下さい。

全員お腹もこわさず、帰国できた事は、とても良かったと思います。中学二年生から76才までの20名の和気あいあいとした旅ができたこともよろこばしい事です。ネパール満喫の旅でした。今回参加できなかった方々も来年は是非計画に入れて下さい。一緒に行きましょう。

尚、4月3日4日の町田桜まつり参加（ネパール大使夫人招待）、5日からのヌルプ・ラマ君兄妹の日本滞在をかわきりに、新たな活動が始まります。さらなるご協力、ご支援をお願い致します。

### 三年目の春に

副会長 加藤 誠一

発足以来順調にネパール支援活動が進み、会員の皆様も増加、大変嬉しく思います。一方どんな組織も100名を越えると交流が希薄になり様々な問題が発生してきます。

例えば連絡一つでも、大変な作業になってきます。私のように土曜日、日曜日は仕事で出席しにくい会員。会費の徴収なども問題になります。事業の内容に関しても賛否両論でまとまりにくくなってきます。公的な資金援助を受けるとその事業内容も当然制約を受けることにもなります。

運営していくにはいやでも大きな労力が必要とされます。定例の理事会や、役員会、事務局の会議などの必要が生じてきます。そして知らないうちに組織運営に時間と労力を消費、本来の事業活動が停滞していくのです。ミカの会がどのような組織に成長していくかは分かりませんが、変化を求められる事に違いはありません。どんなに変化しようと会員相互の寛容で暖かい理解が必要であることに変わりはありません。私が副会長をお受けしたときと状況は大きく変わっています。私自身もう一度ボランティアについて、ミカの会について改めて考える必要があります。

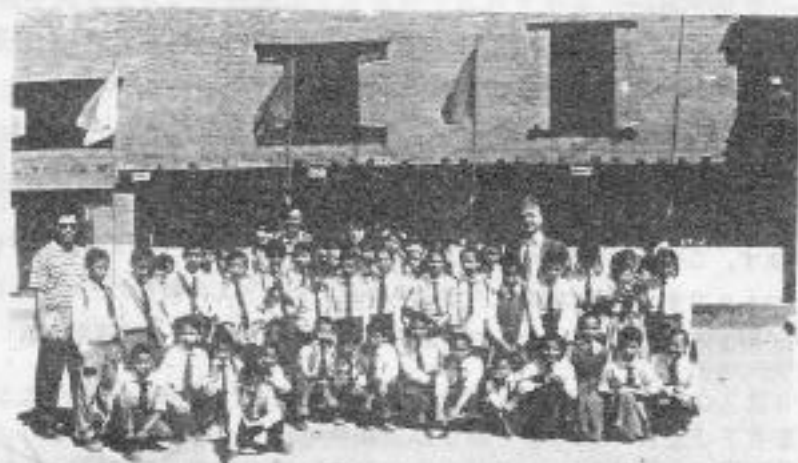
話は変わりますが最近のインターネットについて状況をお知らせします。

ミカの会の会員ですでにインターネットへの接続環境をお持ちの方は多いと思いますが、まずWWWの閲覧、メールの利用が思い出されます。ネパール、ボランティアに関するホームページはかなり多く以前タンセンの町を調べたり、写真集を眺めたりしていました。メールは文章は勿論、写真、動画などを送ることが出来ます。市内電話料金で世界中どこでも送れます。デジタルカメラの普及もあり、例えばラマ君が学校建設の現場をデジタルカメラで撮りその場でノートパソコンで画像を処理、コメントとつけて送信。するとほぼリアルタイムで私達のパソコンで見ることが出来ます。勿論カラー写真でもOKです。

出来ることならラマ君が来日するようなので持ち帰れるように出来れば情報伝達が飛躍的に早く、的確に出来るようになるのです。まだ、ネパール国内の電話事情、プロバイダー事情が分かりませんので費用の面で可能かどうか分かりませんが、強い見方になってくれるはず。ちなみに私のホームページでミカの会を紹介、写真を数点公開しています。



志の共通の学びの場としての自然な情景として目に映り、援助とか支援とかが必要でなくなり、どしどしと子供達がこうした事に相互に参加する事が出来れば、その時理想の国際交流となる。遠からず、そうした時代が来る事を夢みた。忙しいタンゼンの一日、感じた事を述べました。



## ネパールからの感謝状とお願い。

マドゥバニ村  
 村長 スグリア・ブラサードヤドボ

ルパンデヒ (郡) のマドゥバニ村のマドゥバニ小学校。

内容：感謝を込めて

ネパール ミカの会様へ

「ネパール暦 2014 年に建設されて以来このマドゥバニ小学校では 2 室しかなかった。学生たちの数が多かったため授業をやるに大変なことが沢山ありました。台風の時、雨の時には学校止むを得に休みにするしか方法がなかった。マドゥバニ学校のこの状態をよく理解しネパールミカの会より 4 室を建てて頂きましてとても助かりました。新しい教室が出来たことによって今年 6 年生までの授業をはじめます予定があります。このような援助を将来にも続けていただければマドゥバニ学校も高校学校に変えるつもりです。今回の援助で生徒たちをはじめ皆さんの教育のために本当に助かりました。このようなご協力をこれからも期待し学校側のスタッフ一統感謝を致します。」



### श्री गाउँ विकास समिति को कार्यालय

Village Development Committee

रुपन्देही, रुपदेली  
 Office: Rupadeli, Rupandehi

दिनांक: २०७३/१२/२८ सम्बन्धित।

को विकास समितिबाट रोपौं

आपान

ठपरो वन सम्बन्धित पर मधुवनी गा.वि.स. अन्तर्गत २०१९  
 सालमा श्री मधुवनी गा.वि.स. टारगारेन भएकै भवन दुई कोठ  
 भान्न भएकै एक विद्यार्थी ट.के. संकभु वीर भएकै ले गर्नु  
 पाइनु मा थोरै बढिपार् भई एले को चिमे हुने भयो पायी  
 श्री विद्यार्थी ट.के. संकभु वीरको दिने को दान पढिला एकेटा  
 विद्यालय गरिदिने तिरुसे दाना एक भई जोपान बाट विरि  
 धावा गरेको एकटा टोटा को श्री मधुवनी गा.वि.स. मा चारै  
 तराई दिनु भएकै थोरै सहयोग भएकै श्री टारगारेन वन  
 एकेटी जो नुहाएन। एकेटा श्री आपान का दाना दाना को  
 पढिला सहयोग का भन्ना। टारगारेन वन विद्यालय को  
 टारगारेन वन एकेटी सहयोग गरी एक टोटा पढिला  
 रूपमा कोले प्रयास रहुन ट.के. संकभु वीरको पढिला  
 सहयोग वीर सुम्ना काउने भन्ना टारगारेन वन ट.के. संकभु वीर  
 गराएने एकटा श्री मधुवनी गा.वि.स. को विकास समितिबाट  
 एकेटी वन वीरको आभार व्यक्त गर्दिने।

Signature and stamp of the Village Development Committee.

### सक्रिय पकडो गा.वि.स. को कार्यालय

सक्रिय पकडो गा.वि.स. को कार्यालय  
 Yala...

श्री २०७३/१२/२८ दिनांकमा  
 आपान  
 श्री २०७३/१२/२८ दिनांकमा सक्रिय पकडो गा.वि.स. वार्ड नं. २  
 को वन कर्मचारी श्री ट.के. संकभु वीरको एकटा दाना दाना को  
 साथ गर्नु पाइनु मा थोरै बढिपार् भई एले को चिमे हुने भयो पायी  
 श्री विद्यार्थी ट.के. संकभु वीरको दिने को दाना पढिला एकेटा  
 विद्यालय गरिदिने तिरुसे दाना एक भई जोपान बाट विरि  
 धावा गरेको एकटा टोटा को श्री मधुवनी गा.वि.स. मा चारै  
 तराई दिनु भएकै थोरै सहयोग भएकै श्री टारगारेन वन  
 एकेटी जो नुहाएन। एकेटा श्री आपान का दाना दाना को  
 पढिला सहयोग का भन्ना। टारगारेन वन विद्यालय को  
 टारगारेन वन एकेटी सहयोग गरी एक टोटा पढिला  
 रूपमा कोले प्रयास रहुन ट.के. संकभु वीरको पढिला  
 सहयोग वीर सुम्ना काउने भन्ना टारगारेन वन ट.के. संकभु वीर  
 गराएने एकटा श्री मधुवनी गा.वि.स. को विकास समितिबाट  
 एकेटी वन वीरको आभार व्यक्त गर्दिने।

Signature and stamp of the Village Development Committee.

サックロンパカリ村  
 村長 ビンディア・ショレヤドボ

ネパール・ミカの会様へ

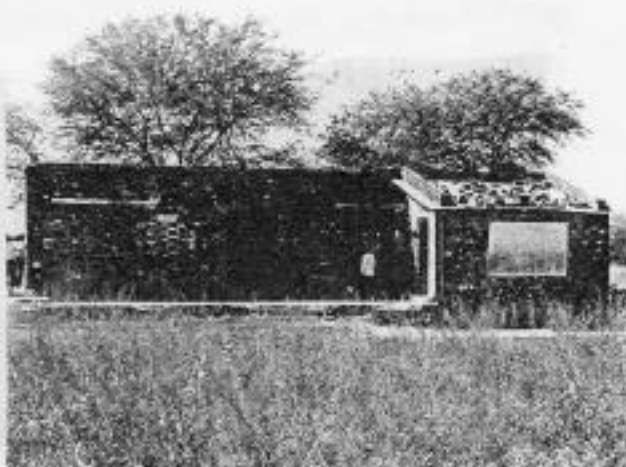
「ネパールのバカデイ村、ルバンデヒ郡にあるラム小学校では生徒の数が250人以上。小学校としてこの人数が多いと思われる。人数が多い割には教室の数又は事務室は足りない状態です。この小学校では5年生までしかなくて近隣の村にも中学校又は高校学校はありません。従って中学校又は高等学校へ勉強を続けたい学生は遠くの村へ引越しなければなりません。遠う村に住み込んで勉強するのはこの学生にとってはあまりも出来ないことです。これは主な原因になり途中で学校を中退する学生が多いです。バカデイ村の学生は中退せずに勉強を続けられるようにするためにラム小学校では教室の数を増やさなければなりません。日本のネパールミカの会より教室利用の2室又は事務用の1室建てるとの援助を頂ければとてもありがたく思います。これについてのご検討をよろしくお願い致します」



スリー・スリー・ラム小学校



スリー・ルンビニ小学校



スリー・グルワニ・マイ小学校

## ネパールにて

佐々木 登久子

T子様、出発に際しましては、やさしい御心使いありがとうございました。旅の三日目、カトマンドゥを経て、只今ポカラにおります。花に囲まれた素敵なホテルで昼食を頂きました。昨日フェディより、対岸の段々畑に登るに連れて、きれいに見える急な坂道を、ひたすら登り続けました。天気も良く、そよ風を道連れに、一行気持ち良く登り続けました。やがて階段状の登りになり、人家のある地域にさしかかり、一軒の家の前を通り過ぎようとした時、三才位の幼女が、恥ずかしそうに、スカートをたくし上げながら出て来ました。その下は何も付けていませんでした。思わず可愛いと声が出てしまい、それと共に私達の昔の光景を見る思いでした。そこへ母親と思われる方が、下の子を抱いて来て並んでくれたので、カメラを向けましたところ、手を差し出され何かを要求されたのですが、応待の仕方がわからず、首を振って別れてしまいました。どの様にしたら良かったのか思案しながら登り続け、今夜の宿舎のあるタンバスへ着きました。芝生のある庭でベンチに座り、皆さんとお茶タイムを過ごしました。目の前は、アンナプルナ山、マチャプチャレ山等々の山岳を見上げながらの、ゆったりとした気分で、又急な坂道を登り詰めた満足感に浸っておりました。この幸せをあの気になっていた幼女にお裾分け出来たらなーと今更ながら考えてしまいました。帰り道出会ったら、持ち合わせのチョコを手渡そうと決め、少し心が安らぎました。

明日から、いよいよ旅の目的である子供達との出逢いです。どの様に接したら喜んで下さるのか、私のこれからの課題です。

カトマンドゥの第一歩の重さと、帰国の際の足元が違う感じがして来た旅の初めです。帰国致しましたら、土産話を聞いて下さいますよう。 ご気遣よう。

三月五日

登久子

### 夢の下書

突然ラマ君からTEL。会報を出すまぎわの報。5日の来日とばかり予定していたが、これでこってり桜祭りのお手伝いをたのめる事になった。

「ゆっくり」「ささやかに」「仲よく」「心をこめて」会報一号の会長のことばである。少々自分のネパールについて考えてみたいと思います。今後ともミカの会の発展をいのりつつ、世羅美庵の役目を無事終えた自負を枕にさせてもらいながら。

(坂)